

港北力

こう ぼく ちよく

発見☆通信

はっけん つうしん



港北区キャラクター
ミズキー

港北区の元気のもと発見!

発行：平成 23 年 9 月 22 日 木曜日

港北区地域力発見プロジェクト 事務局
地域振興課地域力推進担当
福祉保健課事業企画担当

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1
☎ 045-540-2247 FAX 045-540-2245

Vol.4

contents

- 1 地域のチカラ応援事業の活動団体を紹介
- 2 地域のチカラ応援事業の続き／保健活動推進員の紹介
- 3 地域医療救護拠点を知っていますか
- 4 江戸川乱歩賞受賞“川瀬七緒さん(港北区在住)”にインタビュー／家庭防災員の紹介

今年の夏は暑かった～！でも、負けずに活動していま～す!!
地域のチカラ応援事業の活動団体の中から5団体を紹介します!

事業については、

[平成 23 年地域のチカラ応援事業](#) [検索](#)

「聴く側の楽しみ、演る側の楽しみ」をモットーに、明るく楽しく正しく活動しています!

「横浜港北区民吹奏楽団」は、昭和 55 年に発足、昭和 61 年から現在の名称で活動している総勢 55 人の吹奏楽団です。団員は、高校生から楽器歴数十年のベテランまで幅広い年齢層で構成されています。「アマチュアであることの良さを保つため、プロの音楽家に指導はお願いしていません。」と団長の佐藤さん。練習中は、奏者からも指揮者に意見が出されるなど、厳しい中でも、和気あいあい、にぎやかな雰囲気で行われています。演奏会が楽しみですね。皆さんも是非一度聴きに行ってみてはいかがでしょうか。

団員も募集中。
詳しくは、

[横浜港北区民吹奏楽団](#)

[検索](#)

【演奏会の予定】

- ①ウインターコンサート 2011：平成 23 年 12 月 11 日（日） 港北公会堂
- ②第 29 回定期演奏会：平成 24 年 6 月 24 日（日） 港北公会堂



本番に向けての練習風景

夏の暑い日には打ち水を！STOP温暖化！

「大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会」は、8 月 10 日（水）に「大豆戸菊名打ち水大作戦」を開催しました。晴天続きで 35℃を超えるアツつい日でしたが、参加した 150 人の子どもと大人で列を作り、今は暗渠で隠れてしまった川を再現しました。打ち水後の体感温度は、10℃下がったと感じてしまうほどでした。打ち水後は太鼓演奏が行われ、子どもたちにはスイカが振る舞われました。エネルギーについての勉強会も行われました。8 月 22 日（月）の資源循環局港北事務所でされた太陽光発電の見学会は、あいにくの雨模様でしたが、一時的に雨が上がることもあり、屋外で太陽光発電と風力発電、そしてゴミ収集車の見学をすることができました。

ホームページ検索は、[大豆戸菊名打ち水](#)

[検索](#)



大豆戸桜田公園そばで打ち水

公園の上空に力強く飛び立つ飛行機たち！

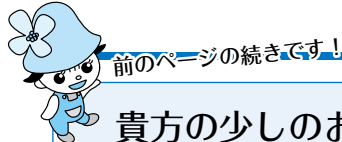
「NPO 法人 あいあい」は、病気や障がいのある子どものいる家族の子育てをサポートしています。幼なじみをつくる出会いの場を提供するために、年 2 回の「ひこうきとばそう大会」を開催しています。先月は、武相中学高等学校、神奈川大学等の学生ボランティアも参加し、<障がいのある子もいない子も一緒に遊ぼう！第 12 回ひこうきとばそう大会 in 岸根公園>を行いました。幼児から小学生までを対象に障がいのある子もいない子も共に集う遊びの場を提供しています。次回の大会予定は、平成 24 年 2 月 18 日（土）13：30～15：00 です。また、その他の活動では、「学生さんと遊ぼう in 大豆戸地域ケアプラザ」も平成 23 年 12 月 17 日（土）に開催を予定していますので、ぜひ御参加をしてください!

ホームページ検索は、[NPO 法人あいあい](#)

[検索](#)



岸根公園での大会風景



貴方の少しのお時間を美しい地域づくりに御提供ください！

「グリーンフィンガーズ友の会」は、月2回、朝、菊名池公園(妙蓮寺駅から徒歩3分)に集まり、「いつかは日本一綺麗な美しい公園に」を目標に、仲間と清掃活動を行っています。その他の活動では、有志による公園内外のごみ拾いも実践中。また、土木事務所から協力を得て、公園内花壇の植栽を行っています。年間を通して美しい花々で公園に彩りを添えられるよう、汗を流しています。

“グリーンフィンガーズ”とは、緑や花の愛好家という意味です。老若男女(現状は老々男女ですが)、どなたも歓迎! 「GreenFingers (グリーンフィンガーズ)」の仲間に入って活動してみませんか。

会長 鈴木 Tel 045-433-4699

westendk@hotmail.com



花壇の色鮮やかな花々



活動後にみんなで記念写真

歴史ある港北区を知ってもらう映画祭開催！

「ワークショップ・ピリオド」は、映像を中心に港北の歴史探究の記録と発信を目的とし、8月20日(土)に「港北ふるさと映画祭」を開催しました。港北ふるさとテレビ局の協力のもと、篠原町の宅地開発に伴う発掘調査をめぐる作品として「やっぱりあった篠原城」を制作・上映しました。2009年に制作した「まぼろしの篠原城」の続編というべき作品です。地元にお住まいの五大路子さんのナレーションで、発掘現場や出土品についてまとめ、城跡の保存を願う篠原城と緑を守る会の活動も紹介しました。

ホームページ検索は、

ワークショップピリオド

検索

港北ふるさとテレビ局

検索



港北ふるさと映画祭の会場風景

身近な地域で活動しているヒトを紹介します

●保健活動推進員

保健活動推進員は自治会町内会の推薦により市長から委嘱された非常勤の特別職公務員です。横浜市では約5,000人、港北区では13地区で約500人の保健活動推進員が、自らの健康づくりに取り組むとともに、区役所と協力しながら地域の健康づくりのために様々な活動を行っています。横浜市民の健康づくり計画「健康横浜21」の地域における推進役、正に地域の健康づくりのリーダーなのです。

平成22年度
実績

港北区保健活動推進員の あんな活動、こんな活動

●禁煙応援団

区内飲食店の禁煙・分煙状況調査のほか、昨年度は、篠原西小学校PTA主催イベント「ハッピーランド」に参加して、小学生を対象に啓発活動を行いました。

●乳がん啓発キャンペーン

区民まつりなどで、乳がん触診モデルを使って、自己検診の啓発を行いました。



お知らせ 是非お越しく下さい！

10月15日(土) 9:30～15:15 新横浜駅前公園で開催される「ふるさと港北ふれあいまつり」で足指力測定、血管年齢判定(BCチェッカー)、呼気一酸化炭素測定(スモーカーライザー)などの無料健康チェックを行います。



昨年「ふるさと港北ふれあいまつり」での様子

私たち保健活動推進員は、各地域で開催している体操教室やウォーキング、健康チェックなどをとおして、自分達も楽しみながら、皆さんと一緒に健康づくりに取り組んでいます。

今後も、福祉保健センターや地域の団体とも協力しながら、健康情報を発信していきます。

健康に関するイベント開催時には、是非お声掛けください！



港北区保健活動推進員
会長 由井昌子さん

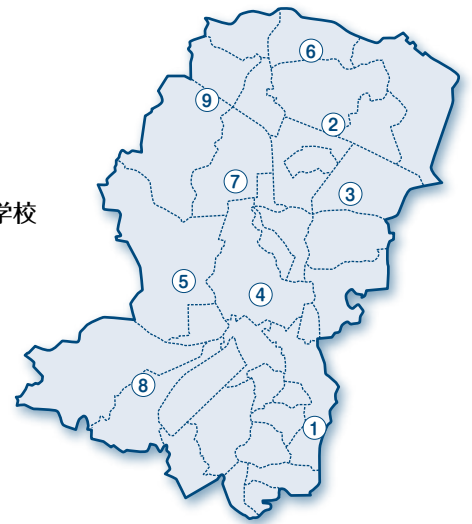
地域医療救護拠点を知っていますか？

大規模な震災時には、家屋の倒壊や家具類の転倒、火災などによって、多数の傷病者が発生することが予想されます。傷病者の重症度を選別したり、傷病者の応急処置を行うため、横浜市では、中学校区ごとに1箇所の割合で「地域医療救護拠点」を整備しています。

港北区内には9か所の地域医療救護拠点があり、応急処置に必要な医薬品等を備蓄しています。震災時には医師・歯科医師・薬剤師・看護師で編成された医療救護隊が、地域医療救護拠点に参集し、医療活動を行います。

医療救護隊は、港北区医師会・港北歯科医師会・港北区薬剤師会の御協力により編成されています。

【地域医療救護拠点マップ】



たるまちクリニック院長・片山時孝先生の講演から

3月11日に発生した東日本大震災から約半年が過ぎました。横浜においても地域の皆さんは現在でも不安を抱えながら生活されていることと思います。こういった時期だからこそ、あらためて災害医療や地域医療救護拠点のことについて知っていただき、日頃から『こころ』の備えをしていただきたいと思います。

〈災害医療と救急医療の違いについて〉

救急医療では、救命し得る可能性がある場合には全ての医療資源を用いて治療を行います。大規模災害発生時には「防ぎ得た（災害）死を避ける」ことを目的として、トリアージにより治療優先順位を決定します。限られた医療資源をどのように投入したら1人でも多くの傷病者を救命できるか考えなければなりません。1人あたり30秒から1分でトリアージし、判定結果にはトリアージタグを用います。災害医療は救急医療の延長上にあるものではなく、次元の異なる医療活動です。



〈災害医療拠点病院について〉

港北区の属する横浜北部二次保健医療圏では、4病院が災害医療拠点病院に指定されています。地域医療救護拠点で、トリアージにより「重症」と判断されると災害医療拠点病院へ搬送されて「救命治療」が行われます。被災傷病者がトリアージを受けずに災害医療拠点病院へ直接押しかけてしまうと、災害医療拠点病院としての機能を果たせなくなります。傷病者の方は、地域医療救護拠点でトリアージを受けるようにお願いします。

片山時孝先生プロフィール：港北区医師会 救急医療・災害医療担当理事。港北区では、地域医療救護拠点での訓練時にはトリアージ指揮者として活躍。現在は港北区医師会・港北歯科医師会・港北区薬剤師会とともに、港北区の災害医療体制づくりの中心として活動中。

No.		氏名 (Name)		年齢 (Age)	性別 (Sex)
				男 (M)	女 (F)
住所 (Address)				電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻				トリアージ実施者名	
月 日 AM PM 時 分					
搬送機関名		収容医療機関名			
トリアージ実施場所				トリアージ区分	
トリアージ実施機関				0 I II III	
症状・診断内容				医 師 救 急 救 命 士 其 他	
1					
2					
3					
処置内容					

トリアージタグ



平成22年度

日吉南小学校



トリアージ訓練の様子

港北小学校



城郷小学校

【地域医療救護拠点に関するお問合せ】

港北福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当まで

電話：540-2360 FAX：540-2368

*東日本大震災後、横浜市では防災計画の見直し・修正を行っており、地域医療救護拠点のあり方についても再検討しています。

INTERVIEW

江戸川乱歩賞の受賞者、川瀬七緒さんインタビュー

港北区在住の川瀬七緒^{かわせ ななお}さんが、『よろずのことに気をつけよ』で、本年度江戸川乱歩賞を受賞されました。

港北区地域力発見プロジェクトは、今回の受賞を記念して、大倉山記念館において、川瀬七緒さんへの独占インタビューを行いました。

【取材日：平成23年7月22日】

港北区地域力発見プロジェクト(以下：区) * この度は、江戸川乱歩賞受賞おめでとうございます。また、お忙しいところお時間をいただきありがとうございます。さて、早速ですが、住民として、港北区の印象はいかがですか。

川瀬七緒さん(以下：川瀬さん) * 大変住みやすく、また、子どもが多い所という印象があります。子どもが小さい時には、港北区役所主催の赤ちゃん会に参加していました。

区 * 受賞した作品についてお聞かせください。

川瀬さん * 故郷である福島県白河市に隣接する西郷村にある祈祷念仏の風習からヒントを得て、小説を書きました。

区 * これから作品を読む人に向けて、作品のセールスポイントを教えてください。

川瀬さん * 実際にある呪術や因習などの日本文化を題材にしています。また、江戸川乱歩賞の審査委員から、「どこまでが事実でどこからが創造なのか分からない」と言われた部分もセールスポイントです。

区 * ありがとうございました。作品の刊行を楽しみにしています。



「港北区キャラクター ミズキー」と川瀬さん



区ホームページでも紹介中

港北区川瀬七緒

検索

※川瀬七緒著『よろずのことに気をつけよ』(講談社)は、8月8日(月)から定価 1,575 円(税込)で発売中です。

インタビュー終了後、大倉山記念館を見学されました。
施設の説明は、大倉精神文化研究所研究部長 平井誠二さん

ご近所に“防災の輪”を広げます！～地域の安全・安心は自分たちの手で守ります～

新吉田あすなろ地区家庭防災員
(代表連絡員 齋藤さん)

新吉田あすなろ地区は、東に鶴見川水系支流の早淵川、南には本流の鶴見川が流れており、個別住宅やマンションが混在する地域です。

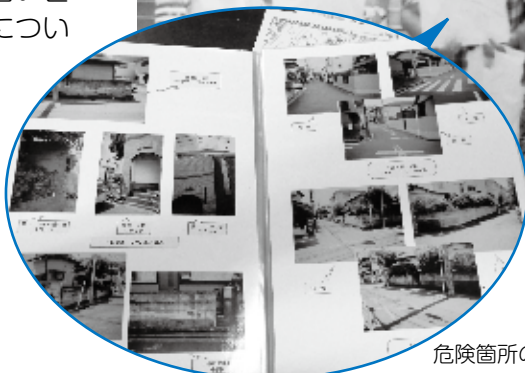
昔からの住人の方だけでなく、新たに入居された若い世代の方も多く、家庭防災員としても地域の特性などについての話し合いを行っています。

災害発生時の危険箇所や活動について話し合い、危険な現場の確認をし、地図に記したものを地域の方と情報共有し、災害に強いあすなろを目指しています。

また、話し合いや防災訓練を通じて、地域でのコミュニケーションを深め、困ったときお互いがいつでも手を差し伸べあえる関係を作っています。



新吉田あすなろ地区
防災まち歩き、
防災マップ制作の様子



危険箇所のデータと写真